

下原委員（自民議連）

令和3年3月11日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）次代を担う高校生の育成に向けた県独自の取組について

次代を担う「未来の種」である高校生の育成に向けて、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定に加え、県独自の指定制度である「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」の研究開発校を拡充するなど、高校生が自ら考え、自ら学ぶといった取組の裾野をもっと拡大すべきと考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

県教育委員会では、平成26年12月に策定した「学びの変革」アクション・プランに基づき、広島で学んだことに誇りを持ち、高い志の下、世界の人々と協働して新たな価値を生み出すことのできる人材の育成を目指して、課題発見・解決学習、異文化間協働活動に係る事業に取り組んでまいりました。

平成27年度から取り組んでおります「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」について、来年度は、第3期として、普通科、専門学科、総合学科等の学科の特色を生かしたカリキュラム開発において、生徒の主体性を育むため、複数の学科・学校の生徒によるプロジェクト学習に取り組み、研究開発校につきましても、9校から18校に拡充する予定としております。

県教育委員会といたしましては、国の指定事業に加え、県の指定事業を効果的に展開し、学びの変革の一層の推進に取り組んでまいります。